

市民活動センターの在り方検討アンケート 集計表

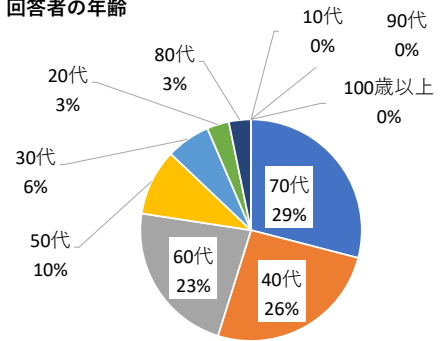
アンケート回答数

31

1-(1) 年齢

年代	数	割合
70代	9	29%
40代	8	26%
60代	7	23%
50代	3	10%
30代	2	6%
20代	1	3%
80代	1	3%
10代	0	0%
90代	0	0%
100歳以上	0	0%
合計	31	100%

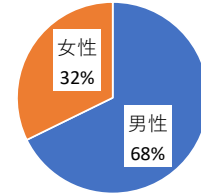
1-(1) 回答者の年齢



1-(2) 性別

性別	数	割合
男性	21	68%
女性	10	32%
合計	31	100%

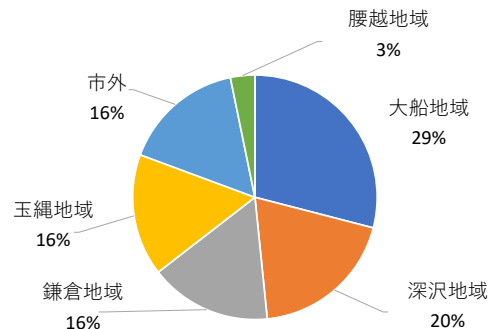
1-(2) 性別



1-(3) お住まいの地域

お住まいの地域	数	割合
大船地域	9	29%
深沢地域	6	19%
鎌倉地域	5	16%
玉縄地域	5	16%
市外	5	16%
腰越地域	1	3%
合計	31	100%

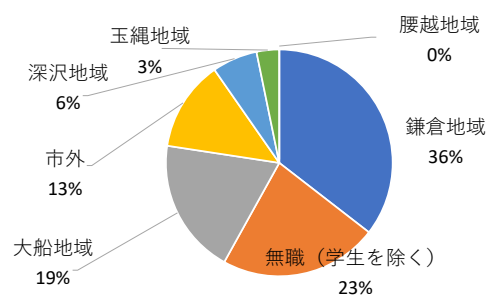
1-(3) お住まいの地域



1-(4) 通勤・通学の地域

通勤・通学の地域	数	割合
鎌倉地域	11	35%
無職（学生を除く）	7	23%
大船地域	6	19%
市外	4	13%
深沢地域	2	6%
玉縄地域	1	3%
腰越地域	0	0%
合計	31	100%

1-(4)通勤・通学の地域



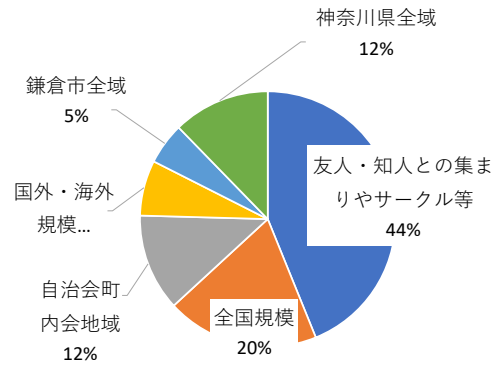
2-(1) あなたは市民活動に関わっていますか

市民活動への関わり	数	割合
関わっている	31	100%
関わりはないが、これから関わりたい	0	0%
関わっていない	0	0%
合計	31	100%

2-(2) あなたは主にどの範囲で市民活動を行っていますか（複数選択可）

市民活動の範囲	数	割合
友人・知人との集まりやサークル等	25	44%
全国規模	11	19%
自治会町内会地域	7	12%
国外・海外規模	4	7%
鎌倉市全域	3	5%
神奈川県全域	7	12%
合計	57	100%

2-(2) 市民活動の範囲



2-(3) あなたが活動する際の主な所属団体を一つ選んでください

活動時の主な所属団体	数	割合
任意団体	15	48%
NPO法人等（法人化団体）	14	45%
生涯学習団体・社会教育団体	1	3%
自治会町内会	1	3%
民間企業	0	0%
個人（個人活動・個人ボランティアなど）	0	0%
合計	31	100%

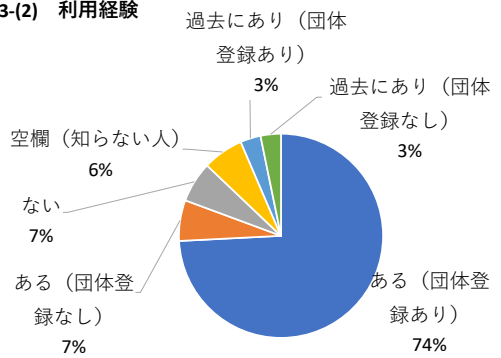
3-(1) あなたは市民活動センターを知っていますか

センターの認知	数	割合
はい	29	94%
いいえ	2	6%
合計	31	100%

3-(2) あなたは市民活動センターを利用したことがありますか

利用経験	数	割合
ある（団体登録あり）	23	74%
ある（団体登録なし）	2	6%
ない	2	6%
空欄（知らない人）	2	6%
過去にあり（団体登録あり）	1	3%
過去にあり（団体登録なし）	1	3%
合計	31	100%

3-(2) 利用経験



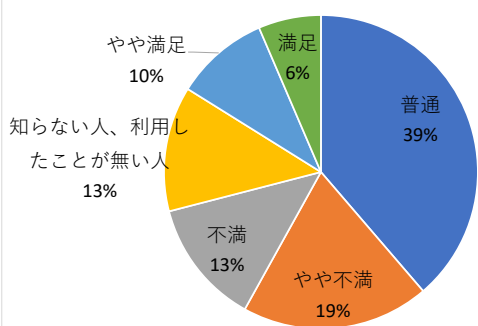
3-(3) あなたは普段どこの市民活動センターを多く利用しますか（していましたか）

利用場所	数	割合
鎌倉	13	42%
大船	7	23%
両方	7	23%
知らない人+利用したことが無い人	4	13%
合計	31	100%

3-(4)ア あなたはセンターの現状の「機能」に満足していますか（していましたか）

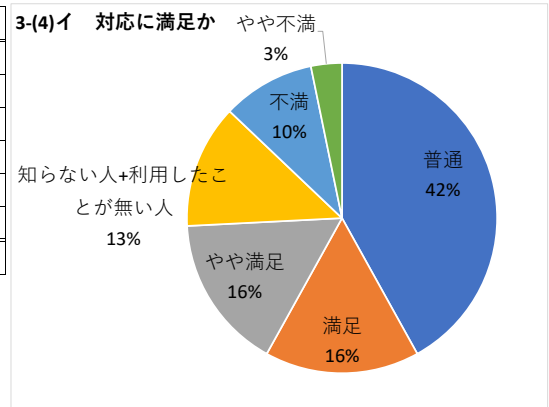
機能に満足しているか（していたか）	数	割合
普通	12	39%
やや不満	6	19%
不満	4	13%
知らない人、利用したことが無い人	4	13%
やや満足	3	10%
満足	2	6%
合計	31	100%

3-(4)ア 機能に満足か



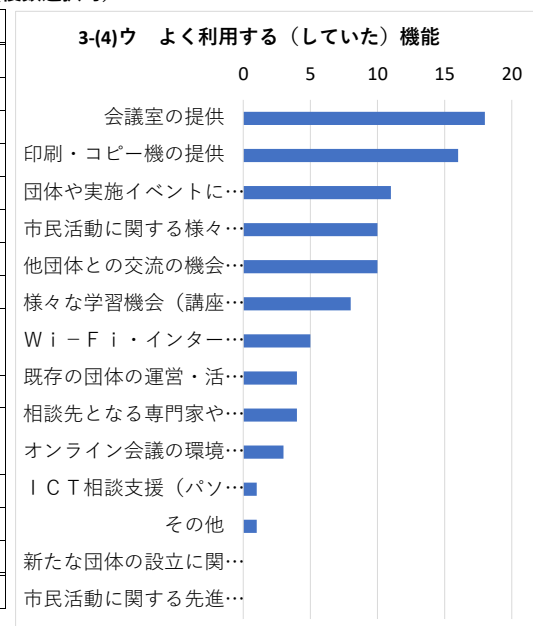
3-(4)イ あなたはセンターの現状の「対応」に満足していますか（していましたか）

対応に満足しているか（していたか）	数	割合
普通	13	42%
満足	5	16%
やや満足	5	16%
知らない人+利用したことが無い人	4	13%
不満	3	10%
やや不満	1	3%
合計	31	100%



3-(4)ウ 普段よく利用している（していた）センターの機能をお選びください（複数選択可）

よく利用する機能	数	割合
会議室の提供	18	20%
印刷・コピー機の提供	16	18%
団体や実施イベントに関する情報発信	11	12%
市民活動に関する様々な情報収集	10	11%
他団体との交流の機会の提供	10	11%
様々な学習機会（講座や勉強会等）の提供	8	9%
W i - F i ・ インターネット環境の提供	5	5%
既存の団体の運営・活動に関する相談	4	4%
相談先となる専門家やふさわしい機関などの紹介（マッチング機能）	4	4%
オンライン会議の環境や設備の提供	3	3%
I C T相談支援（パソコンやオンライン会議などの電子機器への対応・相談）	1	1%
その他	1	1%
新たな団体の設立に関する相談（団体の設立支援）	0	0%
市民活動に関する先進事例の調査・研究活動	0	0%
合計	91	100%



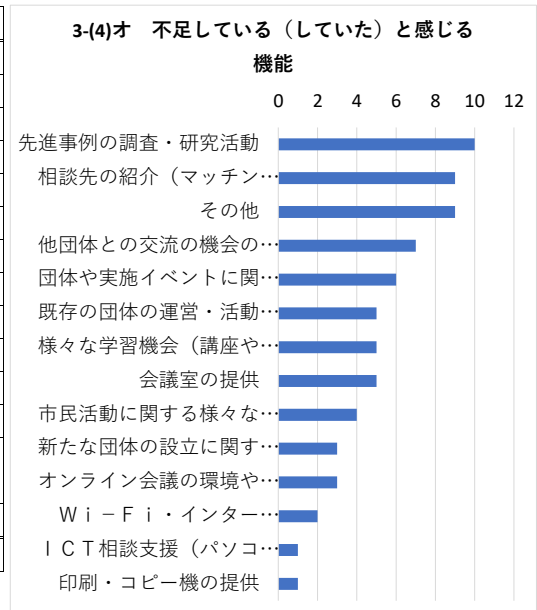
3-(4)エ 上記で選んだ「普段利用している機能」のうち、最も利用しているものを教えてください

最も利用する機能	数	割合
会議室の提供	11	41%
市民活動に関する様々な情報収集	6	22%
印刷・コピー機の提供	4	15%
団体や実施イベントに関する情報発信	2	7%
既存の団体の運営・活動に関する相談	1	4%
他団体との交流の機会の提供	1	4%
様々な学習機会（講座や勉強会等）の提供	1	4%
W i - F i ・ インターネット環境の提供	1	4%
新たな団体の設立に関する相談（団体の設立支援）	0	0%
相談先となる専門家やふさわしい機関などの紹介（マッチング機能）	0	0%
市民活動に関する先進事例の調査・研究活動	0	0%
I C T相談支援（パソコンやオンライン会議などの電子機器への対応・相談）	0	0%
オンライン会議の環境や設備の提供	0	0%
その他	0	0%
合計	27	100%



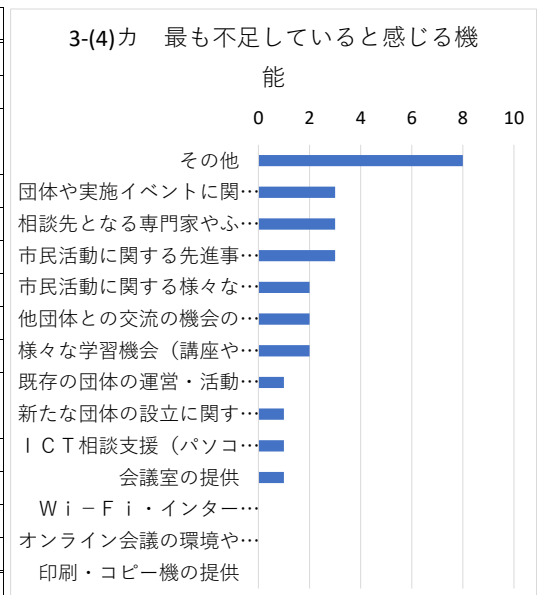
3-(4)オ センターの機能で、「不足している（していた）と感じるもの」をお選びください（複数選択可）

不足している（していた）と感じる機能	数	割合
先進事例の調査・研究活動	10	14%
相談先の紹介（マッチング機能）	9	13%
その他	9	13%
他団体との交流の機会の提供	7	10%
団体や実施イベントに関する情報発信	6	9%
既存の団体の運営・活動に関する相談	5	7%
様々な学習機会（講座や勉強会等）の提供	5	7%
会議室の提供	5	7%
市民活動に関する様々な情報収集	4	6%
新たな団体の設立に関する相談（団体の設立支援）	3	4%
オンライン会議の環境や設備の提供	3	4%
W i - F i ・ インターネット環境の提供	2	3%
I C T相談支援（パソコンやオンライン会議などの電子機器への対応・相談）	1	1%
印刷・コピー機の提供	1	1%
合計	70	100%



3-(4)カ 上記で選んだ「不足していると感じる機能」のうち、最も不足しているものをお選びください

最も不足していると感じる機能	数	割合
その他	8	30%
団体や実施イベントに関する情報発信	3	11%
相談先となる専門家やふさわしい機関などの紹介（マッチング機能）	3	11%
市民活動に関する先進事例の調査・研究活動	3	11%
市民活動に関する様々な情報収集	2	7%
他団体との交流の機会の提供	2	7%
様々な学習機会（講座や勉強会等）の提供	2	7%
既存の団体の運営・活動に関する相談	1	4%
新たな団体の設立に関する相談（団体の設立支援）	1	4%
I C T相談支援（パソコンやオンライン会議などの電子機器への対応・相談）	1	4%
会議室の提供	1	4%
W i - F i ・ インターネット環境の提供	0	0%
オンライン会議の環境や設備の提供	0	0%
印刷・コピー機の提供	0	0%
合計	27	100%



3-(5)ア センターを「利用しなくなった」理由について、あてはまるものをお選びください（複数選択可）

利用しなくなった理由	数	割合
団体の運営・活動に関する相談機能が不足していたから	1	25%
相談先となる専門家やふさわしい機関などへの紹介（マッチング力）が不足していたから	1	25%
市民活動に関する先進事例の調査・研究活動が不足していたから	1	25%
団体として登記する事務所の所在地機能がないから	1	25%
活動を休止、または解散したことによって利用するきっかけが無くなったから	0	0%
市民活動に関する様々な情報収集力が不足していたから	0	0%
団体や実施イベントに関する情報発信力が不足していたから	0	0%
他団体との交流機会の提供が不足していたから	0	0%
様々な学習機会（講座や勉強会等）の提供が不足していたから	0	0%
Wi-Fi・インターネット環境の提供が不足していたから	0	0%
ICT関連の相談支援が不足していたから（パソコンやオンライン会議などの使用方法に関する相談等）	0	0%
オンライン会議を行うための環境や設備の提供が不足していたから	0	0%
会議室の提供が不足していたから	0	0%
印刷コピー機の提供が不足していたから	0	0%
その他、利用したいと思わなくなったから	0	0%
合計	4	100%

3-(5)イ 上記で選んだ「利用しなくなった理由」のうち、最もあてはまる理由を一つお選びください。

利用しなくなった理由で最もあてはまるもの	数	割合
団体の運営・活動に関する相談機能が不足していたから	1	50%
その他、利用したいと思わなくなったから	1	50%
活動を休止、または解散したことによって利用するきっかけが無くなったから	0	0%
市民活動に関する様々な情報収集力が不足していたから	0	0%
団体や実施イベントに関する情報発信力が不足していたから	0	0%
他団体との交流機会の提供が不足していたから	0	0%
相談先となる専門家やふさわしい機関などへの紹介（マッチング力）が不足していたから	0	0%
市民活動に関する先進事例の調査・研究活動が不足していたから	0	0%
様々な学習機会（講座や勉強会等）の提供が不足していたから	0	0%
Wi-Fi・インターネット環境の提供が不足していたから	0	0%
ICT関連の相談支援が不足していたから（パソコンやオンライン会議などの使用方法に関する相談等）	0	0%
オンライン会議を行うための環境や設備の提供が不足していたから	0	0%
会議室の提供が不足していたから	0	0%
印刷コピー機の提供が不足していたから	0	0%
団体として登記する事務所の所在地機能がないから	0	0%
合計	2	100%

3-(6)ア センターを利用していない理由を下記からお選びください（複数選択可）

利用していない理由	数	割合
センターでどのようなサービスが受けられるのかわからなかったから	1	20%
市民活動に関する様々な情報収集力が不足しているから	1	20%
団体や実施イベントに関する情報発信力が不足しているから	1	20%
様々な学習機会（講座や勉強会等）の提供が不足しているから	1	20%
その他	1	20%
団体の運営・活動に関する相談機能が不足しているから	0	0%
他団体との交流機会の提供が不足しているから	0	0%
相談先となる専門家やふさわしい機関などへの紹介（マッチング力）が不足しているから	0	0%
市民活動に関する先進事例の調査・研究活動が不足しているから	0	0%
Wi-Fi・インターネット環境の提供が不足しているから	0	0%
ICT関連の相談支援が不足しているから（パソコンやオンライン会議などの使用方法に関する相談等）	0	0%
オンライン会議を行うための環境や設備の提供が不足しているから	0	0%
会議室の提供が不足しているから	0	0%
印刷コピー機の提供が不足しているから	0	0%
団体として登記する事務所の所在地機能がないから	0	0%
合計	5	100%

3-(6)イ 上記で選んだ「利用していない理由」のうち、最もあてはまる理由を一つお選びください

利用していない理由で最もあてはまるもの	数	割合
団体や実施イベントに関する情報発信力が不足しているから	1	50%
その他	1	50%
センターでどのようなサービスが受けられるのかわからなかったから	0	0%
市民活動に関する様々な情報収集力が不足しているから	0	0%
団体の運営・活動に関する相談機能が不足しているから	0	0%
他団体との交流機会の提供が不足しているから	0	0%
相談先となる専門家やふさわしい機関などへの紹介（マッチング力）が不足しているから	0	0%
市民活動に関する先進事例の調査・研究活動が不足しているから	0	0%
様々な学習機会（講座や勉強会等）の提供が不足しているから	0	0%
Wi-Fi・インターネット環境の提供が不足しているから	0	0%
ICT関連の相談支援が不足しているから（パソコンやオンライン会議などの使用方法に関する相談等）	0	0%
オンライン会議を行うための環境や設備の提供が不足しているから	0	0%
会議室の提供が不足しているから	0	0%
印刷コピー機の提供が不足しているから	0	0%
団体として登記する事務所の所在地機能がないから	0	0%
合計	2	100%

3-(7)市民活動センターを利用した際の感想やご意見があれば自由にご記載ください

1	<p>(1) 紙の1/13ページにQRコードしか記載がなくURLをさがすのに苦労した。なぜURLを併記しないのですか。スマホ以外はサービス対象外ですか。</p> <p>(2) 最初に所属団体名を記載するようになっていたが、団体としての回答がほしいのであれば団体としての回答と個人としての回答の区別がほしい。なお、団体として回答する場合は団体の機関決定を要するので個人名は不要（連絡先が必要なならそのようにすること）。</p> <p>(3) 記入している最中に時間切れの警告が出た。不愉快だ。</p> <p>(4) 「選択肢の結果によって入力条件が変わります」の意味不明。選択候補が自動的に変化するのか。</p> <p>(5) 本題である。他市の中間支援組織の機能と実態を知らないので比較できないので一方的な意見を述べる。</p> <p>最近2年位の事例では、団体の確定申告に関する相談ができなかった。相談部会は正会員に対するサービスという説明があったがこれは運営会議（指定管理者、正式名称忘却）の正会員という意味だと、センターとは関係ないことになる。というか、中間支援組織たるセンターの業務として相談部会の機能があってほしい。県への報告とか、登記とか、税務とかNPO法人運営上の相談は結構ある。ときどき法律が変わることもある。勿論、登録350団体のうち、法人はごく少ないことは承知しているが必要なことは必要。</p> <p>(6) センターを利用したいかとの質問に「思う」と回答した。センター以外に選択の余地がない。</p> <p>(7) センターとして不要な機能という設問に対しては無回答とした。自分に関係ない機能かもしれないが、他の団体なり個人には必要かもしれない。よって、不要だなどというつもりはない。</p> <p>(8) 鎌倉と大船の機能が同一とは初めてだった。会議室以外をいずれかに統合されると困る団体が出てくるだろう。大部分の一般的な機能は両方にあるべき。あるいは、更に行政センター毎に必要なかもしれない。</p> <p>(9) 会議室に関する質問は拙劣だ。どれか1つを選ぶことは困難です。</p>
3	<p>スタッフの方がたの細やかな対応に感謝しています。</p>
4	<p>団体が拠点を持っていない時は、会議や印刷機などの利用に便利だったが、法人化するときに情報がほとんどない印象だった。</p>
5	<p>普段は、施設の利用をさせていただき大変感謝しております。ありがとうございます。</p> <p>一方で、経営者視点での利用者とする、疑問のある運用や不愉快な思いをしたことがありました。市民活動サービスの成長とより良い価値提供に繋がるために意見を伝えさせていただきます。</p> <p>事例別に4点あります。</p> <p>1 インターネット利用環境に関して</p> <p>大船センターでインターネット利用に必要なルーターの入れ替えがありました。新しいルーターは、センターの運営用のWiFiと利用者用のWiFiがあります。利用当日は、運営用のWiFiが利用でき、利用者用のWiFiが利用できませんでした。私達は普段パソコンとインターネットを使って業務を行っております。インターネットが使えないと業務が行えません。運営側にWiFi利用できない報告をしました。しかし、運営の方はITリテラシーが弱い方で困ってしまいました。私は、元・ITエンジニア（サーバーエンジニア）なので現状からの問題特定をし3つほど対応案を運営側にお伝えしました。結果、運営のWiFiを利用することにより、インターネットを利用することができました。利用が可能になるまで約30分はかかったと記憶しております。</p> <p>後日の施設利用の際に、確か副理事（理事）と女性理事がこられて、女性理事がかなり小さな声で「先日は利用できなくてすみませんでした。」と謝ったあとに「このインターネット利用は私達の好意で提供しているんです。その点を理解していただきたい。」と言われました。</p> <p>現在、仕事でIT端末は必須であり、インターネットは社会インフラです。多くのNPO支援センターでインターネット利用はされており、実社会であっても、飲食店、公共施設、場合によっては道路でも無料のWiFiが可能です。鎌倉のNPOセンターはインターネット利用に関しては好意でのサービス提供であり、電気・照明といった基本のサービス提供に含まれていないのでしょうか？</p> <p>この2名の理事が来られた日に、弊社スタッフが先に大船NPOセンターに到着をしていました。その際に弊社スタッフが、大船NPO運営スタッフ（確か理事）が「インターネット利用で文句を言うなら出入り禁止にしようか」と言っていたと私に報告してくれました。話の内容からすると不快であり正当な理由でないと思いました。弊社スタッフが事を荒立てないようにと忠告してくれたので、鎌倉市役所には報告をませんでした。</p> <p>インターネット利用に関しても利用者として理解が難しい点があります。インターネット利用は、（確か）一度利用書に署名すればいこうなにも変更がありませんでした。毎月WiFiパスワードが変更するために、この書類に署名することが毎月になる説明を受けました。更にその後、施設利用時に毎回に書類に署名することを求められました。書類の内容はパスワード以外は全て同一です。毎回、署名する必要性は、情報セキュリティの観点においてありません。逆に無駄な紙の利用による半エコ、無駄な作業による双方の人的リソースの減少、無駄なコスト（税金）、紙の管理と情報漏えいの影響があります。これらの点を踏まえ質問をすると、担当者に確認をしておくとのことでした。次の利用の際にこの問合せ連絡が行われなく、電話で上席の方に確認をしていただきました。結果、毎回利用に書類に署名するのは間違った案内でしたと言われました。施設運営の業務の目的、目標、作業が理解されていない中で運営がされていると思いました。改善案としては、利用承諾書に一度署名すればパスワードは壁やクリアファイルに記載して必要な人だけが閲覧できるようにすれば、私が想定したマイナス要因はなくなります。</p> <p>2 不要な業務依頼</p> <p>7月1日にセンターから登録情報更新と年度活動報告という件名のメールと解答用紙を受け取りました。内容はサービスの向上のために</p>

登録団体の基本情報を得たいとのことでした。解答用紙に求められた内容は、毎年NPOが行政に報告書と殆どが一致しており、内閣府や各行政のホームページに掲載されています。NPOの多くは経営資源が少ないです。経営資源が少ない中で必須業務と臨時的業務で運営することに精一杯です。解答用紙のようなことは、精一杯の業務の中で困ります。運営側は、NPOの運営実態やNPOの情報について理解がされていないと思いました。また、情報収集しての管理と活用が本当に出来るのかと思います。

3 ボランティアサポート

NPO運営で人材が必要になりボランティアの募集の依頼をしました。運営の方が対応していただいたのですが、適切にたいされていないように感じました。理由は、ご紹介を頂いた際に説明する内容を個人的な観点による必要な質問を求められました。メールで基本事項は足りており、ご質問の内容はご紹介時の面談で説明する内容ですと連絡しました。ちょっとした謝罪の文章と現状人材がいないという回答でした。募集した人材は、パソコンで簡単な文章が作れ、Webサービス（例：商品購入や予約）が利用できる人材です。スキル面での要望は低い人材が本当にいないのか一連の対応は、適切であったのか申請者としては疑問が残ります。業務の見える化が必要だと思います。

4 マスク利用について

大船センターを利用させていただきました。ご弊社（1名）以外の利用者（団体）はありませんでした。1名で貸し切りの状態です。利用の際に運営側から室内でマスク利用をしてくださいと言われました。利用者は、私が一人、厚生労働省のマスク利用のガイドライン、熱中症予防、ビデオ会議で子供に表情を見せたコミュニケーションの必要性から、マスクをしなくて利用をしました。運営の方は1名いますが場所がかなり離れ飛沫も飛ぶ心配がありません。帰り際に、施設運営者が怒りの感情で「マスクをしてください。ルールを守れないなら、利用を禁止しますよ。」と言われました。今日の私一人の利用状況を説明したあとになぜですか？と質問すると上席電話しますと聞いて、電話を取られました。日頃の対応を親で適切に対応が難しいと思い、委託元の鎌倉市役所の担当課の方に電話で事情を説明しました。その際にこのアンケートを説明を受けました。また、施設運営者が「施設利用で感染者が出たのです」と言われました。これが事実であれば利用者に、事前に案内メールや利用の際口頭で説明がほしいと思います。

以上、大船センターを利用した際にあった出来事です。センターの運営は鎌倉市の委託された公サービスであり、税金が透過されている事業だと思います。小さいNPOの経営者視点で4点の問題を考えると次の仮説が想定されます。

- ・運営の理事が高齢者で昭和的な業務基準や視点で運営を行っている
- ・業務の目的、目標が理解されていない
- ・ITリテラシーが弱い。（特に高齢者がワード、エクセル、メール等が出来ることで自分達がITができていと勘違いをしている可能性がある）
- ・サービスの質が弱い：NPOの支援サービス以前に、運営側がサービスを受けて時代に必要とされるレベルになる必要がある。
- ・NPOリテラシー（課題、ゴール像、強み、弱み等の理解）の理解が弱い

私は昭和生まれです。昭和の時代は、電車内や病院と様々なところで喫煙が可能で当たり前でした。令和の時代では、科学的検知に伴う考え方の変化等から上記の場所では喫煙ができなくなりました。時代と共に仕事の考え方や方法もより良いものになります。私の意見が今後の運営の一助になれば幸いです。

6 団体登録時より大変丁寧にお話を聞いて頂き、心強く感じています。

7 スペースが狭い。
施設が老朽化している。

8 職員さんたちはそれなりに気持ちよく接してくださっています。ただ、狭い、情報が少ない(配架はなさすぎる)、憩い、交流のスペースが小さすぎる。と感じます。

9 かび臭い（鎌倉センター）

10 質問の意味が非常にわかりにくいです。
同じようなことを何度も聞かれて混乱します。
会議室の予約がかなりいっぱいになり、ますます「使える」機能は少なくなった。
イロイロ提供している機能はあるが、何が出来るのかが不明。

11 市民の方が市民活動センターを知らない、利用したことがない方がほとんどで課題だと大きな思います。
若者や高齢者が利用できるように、もう少し周知されるような取り組みをしてほしい。

12 職員によってサービスの質が変わる。例えば応対や説明の誠意など。
夜に使う場合に、職員がいなくなること。

13 棟・設備が老朽化している。

14 会議室が狭いです。隣の部屋との仕切りがアコーディオンカーテンなので、気兼ねします。
それから、冷房が効きすぎて寒かったです。

今の委託先の「運営会議」の仕事に不満があり、できれば関わりたくない、と思っています。
仕事の体をなしていない、と思うことすらあります。
団体の発表や原稿執筆の依頼が急なことが多く、どうしても都合つかない時は心からお詫びしつつ
代替案の提案もしました。

- 15 また、センターが提出先になっている大事な書類をメールにて提出したこともあります。
でも、多くの場合、返事すらないのです。
メールを受理したのかどうかも不明です。
職員間の連絡もされていないのか、
言動がバラバラで個人で動いている感じがします

- 16 少人数、短時間で打ち合わせができるスペースが欲しい。
会議室の椅子、机、白板などの設備が非常に老朽化している。
団体情報を閲覧できるコーナーが欲しい。

3-(8)今後、市民活動に参加したり、自ら団体を作る場合に、市民活動センターを利用したいと思いますか

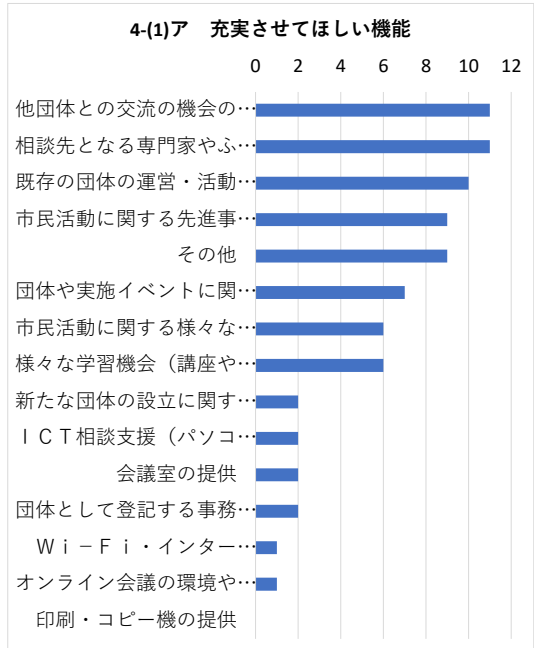
今後利用したいと思うか	数	割合
思う	24	77%
わからない	3	10%
思わない	2	6%
空欄（知らない人）	2	6%
合計	31	100%

3-(8) 思わない理由

- 1 現状の相談体制のままであるならば、県民活動サポートセンターなど他地域の支援センターの情報量、相談力には敵わない
- 2 今の委託先ならば、できるだけ関わりたいくない。

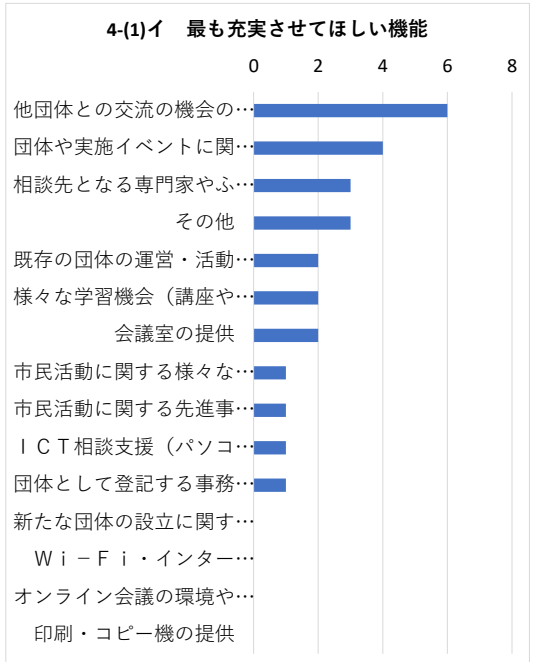
4-(1)ア あなたが”充実させてほしい市民活動センターの機能”を最大3つまでお選びください

充実させてほしい機能	数	割合
他団体との交流の機会の提供	11	14%
相談先となる専門家やふさわしい機関などの紹介（マッチング機能）	11	14%
既存の団体の運営・活動に関する相談	10	13%
市民活動に関する先進事例の調査・研究活動	9	11%
その他	9	11%
団体や実施イベントに関する情報発信	7	9%
市民活動に関する様々な情報収集	6	8%
様々な学習機会（講座や勉強会等）の提供	6	8%
新たな団体の設立に関する相談（団体の設立支援）	2	3%
ICT相談支援（パソコンやオンライン会議などの電子機器への対応支援）	2	3%
会議室の提供	2	3%
団体として登記する事務所の所在地機能	2	3%
Wi-Fi・インターネット環境の提供	1	1%
オンライン会議の環境や設備の提供	1	1%
印刷・コピー機の提供	0	0%
合計	79	100%



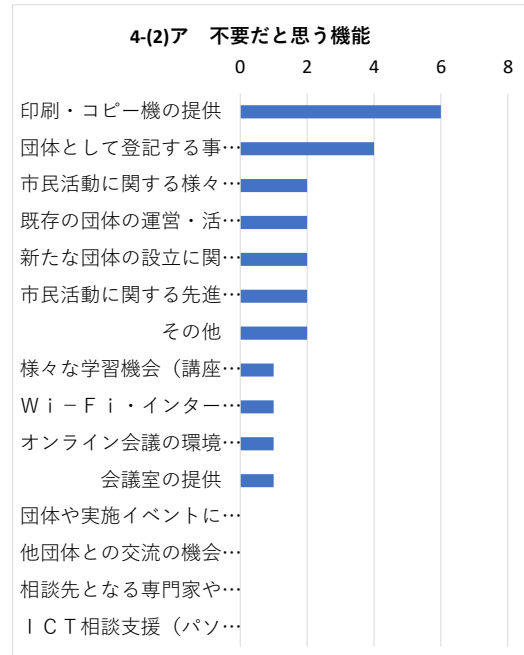
4-(1)イ 上記で選んだ充実させてほしい機能のうち、最もあてはまるもの一つをお選びください

最も充実させてほしい機能	数	割合
他団体との交流の機会の提供	6	23%
団体や実施イベントに関する情報発信	4	15%
相談先となる専門家やふさわしい機関などの紹介（マッチング機能）	3	12%
その他	3	12%
既存の団体の運営・活動に関する相談	2	8%
様々な学習機会（講座や勉強会等）の提供	2	8%
会議室の提供	2	8%
市民活動に関する様々な情報収集	1	4%
市民活動に関する先進事例の調査・研究活動	1	4%
ICT相談支援（パソコンやオンライン会議などの電子機器への対応支援）	1	4%
団体として登記する事務所の所在地機能	1	4%
新たな団体の設立に関する相談（団体の設立支援）	0	0%
Wi-Fi・インターネット環境の提供	0	0%
オンライン会議の環境や設備の提供	0	0%
印刷・コピー機の提供	0	0%
合計	26	100%



4-(2)ア あなたが思う”市民活動センターの最も不要だと思う機能”を最大3つまでお選びください

不要だと思う機能	数	割合
印刷・コピー機の提供	6	25%
団体として登記する事務所の所在地機能	4	17%
市民活動に関する様々な情報収集	2	8%
既存の団体の運営・活動に関する相談	2	8%
新たな団体の設立に関する相談（団体の設立支援）	2	8%
市民活動に関する先進事例の調査・研究活動	2	8%
その他	2	8%
様々な学習機会（講座や勉強会等）の提供	1	4%
W i - F i ・ インターネット環境の提供	1	4%
オンライン会議の環境や設備の提供	1	4%
会議室の提供	1	4%
団体や実施イベントに関する情報発信	0	0%
他団体との交流の機会の提供	0	0%
相談先となる専門家やふさわしい機関などの紹介（マッチング機能）	0	0%
I C T相談支援（パソコンやオンライン会議などの電子機器への対応支援）	0	0%
合計	24	100%



4-(2)イ 上記で選んだ「不要だと思う機能」のうち、最もあてはまる機能の一つをお選びください。

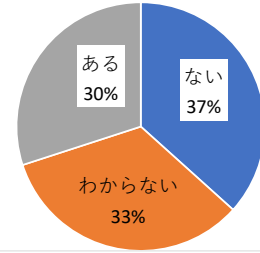
最も不要だと思う機能	数	割合
印刷・コピー機の提供	4	31%
団体として登記する事務所の所在地機能	2	15%
その他	2	15%
新たな団体の設立に関する相談（団体の設立支援）	1	8%
市民活動に関する先進事例の調査・研究活動	1	8%
様々な学習機会（講座や勉強会等）の提供	1	8%
W i - F i ・ インターネット環境の提供	1	8%
会議室の提供	1	8%
市民活動に関する様々な情報収集	0	0%
団体や実施イベントに関する情報発信	0	0%
既存の団体の運営・活動に関する相談	0	0%
他団体との交流の機会の提供	0	0%
相談先となる専門家やふさわしい機関などの紹介（マッチング機能）	0	0%
I C T相談支援（パソコンやオンライン会議などの電子機器への対応支援）	0	0%
オンライン会議の環境や設備の提供	0	0%
合計	13	100%



4-(3) あてはまるものをお選びください（両センターの統合について支障があるか）

両センターの統合に支障があるか	数	割合
ない	11	37%
わからない	10	33%
ある	9	30%
合計	30	100%

4-(3) センターの統合に支障があるか



4-(4)自由記述（任意）

1 協働事業について、今年度から市提案がなくなってしまった。なぜそのようなになったか周知されているのだろうか。市は委託事業にすればよいのだろうが、市民団体が貢献できないかご考える場だった。そうした機会が失われてしまった。もちろん市民団体のできることは限定的だが市民と行政が協働して何かをやるということが評価されていたのではなかったか。また、そうしたテーマがないか1年に1度考えるだけでも意味があったのではと思う。中間支援組織たるセンターは市民団体の声を集めたのだろうか。こうなったという説明も大切だが、仕組みについては市民団体の意見集約機能があってほしい。たしかに厄介な仕事になるが、それができればセンターという組織の値打ちが出てくる。

2 市民活動センターは文字通り市民活動の拠点になるべきものなので、今後も誰もがアクセスしやすい場所に構えていただき、より充実した機能を保持していただければ有難い。

3 新しい団体や若い力が育つような支援、NPOが法人として継続していけるような力、会計士、労務士、の紹介など、思いがある人が、持続できるよう援助してほしいです。
お金がない中で、いかにやりたいことをやっていくか、どんな社会的役割を担っているのかNPO法人が何をやるものなのかなど市民へのアピール、理解周知もできると社会参画してくれる人が増えるのではと思います。

4 地域に出てきての活動を積極的に行なってもらい、コーディネート業務を行なってもらいたい。

5 会議室、コピー機の利用といったハード面だけではなく、市民活動団体に積極的に出向いてニーズを聞き取り、その内容によっては、関係諸機関、専門家等に結び付けていくこと。
市民活動を地域共生社会実現のための資源ととらえ、様々な活動分野の団体を重層的に捉え、協働を促進すること。
以上を実現するために、地域活動支援コーディネーターのように「市民活動支援コーディネーター」といった人材を育成し、センターに配置すること。

6 先ほども書きましたが、多くの世代や団体・個人との交流です。子どもからお年寄りまで複合的な交流の場であってほしい、そこから新しい出会いや方向が見つかる可能性が大きいと感じます。さらに人が交流することで、場の活気が生まれると思います。

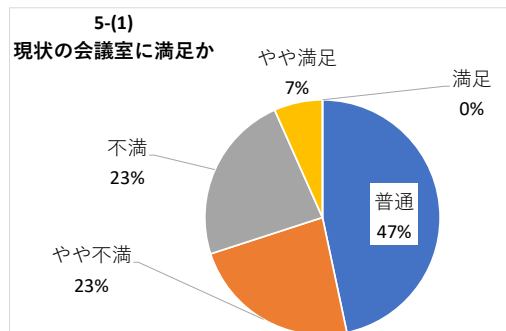
7 一般市民の方がイベントにもっと参加しやすい情報発信の工夫が必要です。例えば、JCN鎌倉やかまくら萌誌などの連携・協調など。

8 ○理想は
東京都府中市市民活動センター
<http://www.fuchu-platz.jp/use/index.html>
市民の皆さまが交流できて、子ども食堂を開催したい場合はキッチンもあり
雑誌コーナーや子供を遊ばせるコーナー、コンサートがしたい方へのホール
○一般の鎌倉市民が参加できるイベントや講座の開催
鎌倉市市民活動センターや市民活動の認知度アップのため
登録団体への発信だけではなく一般の市民の方も参加できる仕組みづくりが必要
○まちづくりプラットフォームの構築
センター、登録団体、市民、行政、企業、教育機関の協働による地域課題解決のための議論の場をつくる

9	<p>行けば誰かがいて、声をかけあったり、他の団体の人と話をしたり。 ネット環境もあって外部の人と打ち合わせができたり。 「場」の持つ力は大きく、活動を活性化させます。 「機能」だけの話なら、大したことはிரらない。 活性化の一番の力は、ちょっとした声掛け、交流、情報交換（いわゆるクチコミ）。 例えばレストランがそうであるように それは「場」の力（立地や施設の機能、物語など、入ってみたいくなるようなハコの魅力）と、その運営者の交流を促す力でもあります。</p>
10	<p>現在玉縄地域で鎌倉市社会福祉協議会の支援を受けながら、アセスメント推進会議に係っていますが、玉縄地域の課題は玉縄で暮らす自分達が、自分自身のこととして課題解決に当たっていますが、玉縄地域の住民に積極的に参加して戴く方法が今ひとつ分からないので、その辺りのアドバイスを戴きたいと思います。</p>
11	<p>前述しましたが 本部所在地の提供の他 グループの共有物（道具、備品、記録類など）の保管場所の提供。</p>
12	<p>新しい拠点でも良いのもっと機能を充実させ、市民が利用しやすいようにしてほしい。会議室は増やしてほしい。</p>
13	<p>仲間、ボランティア探し。</p>
14	<p>会議室が少なく狭いので、何とかしてほしいです。</p>
15	<p>ハードよりもソフト面を充実して欲しい。 また、市民活動だけでなく、自治町内会などの地域活動のサポートや、なによりも相談対応力の充実が最も重要視する点である。 加えて、全ては、「相談」することから始まるため、そこの入り口で信頼が得られるか、が決まってしまうと思うため。 なので、センターから出て、常に地域の新しい情報を収集し、蓄えて、それを発信していただきたい。 他団体の参考になる情報を紹介いただけると有難い。(先進事例は、市内に限らず)</p>
16	<p>1. これからは市内で活動している団体同士が互いの特徴を知り、互いに紹介し合えるようになると、より多くの市民が自分に合った活動に参加しやすくなると思います。そのための情報収集機能や紹介機能などが充実するとういと思います。 2. 私は個人事業主になりましたが、その時の手続きや税金の相談ができればよかった、と思います。 3. 地域包括ケアシステムの実現のために行政と市民が力を合わせて互助を発展させていく必要があります。ぜひ行政と出会う場として欲しいです。</p>
17	<p>団体と他のセクターとの交流促進や事業のマッチング。</p>
18	<p>様々な知見とバックグラウンドを持った方々が提供できるメニューを明示できると良いのではと思います。</p>

5-(1)あなたはセンターの現状の「会議室」に満足していますか

現状の会議室に満足か	数	割合
普通	14	47%
やや不満	7	23%
不満	7	23%
やや満足	2	7%
満足	0	0%
合計	30	100%

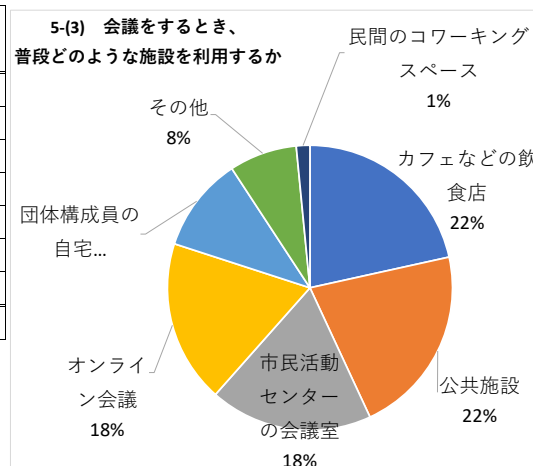


5-(2)あなたはセンターにはどのような場の提供が最も必要だと思いますか。一つをお選びください。

どのような場の提供が必要だと思うか	数	割合
個室になっている会議室	11	35%
少人数で自由に打ち合わせやワークショップ、作業等ができるテーブル席（フリースペース）	7	23%
作業ツールの整った作業専用スペース（印刷・コピー・紙折り機 等）	5	16%
団体として登記する事務所の所在地機能（各種書類の備え置き機能）	5	16%
その他	3	10%
合計	31	100%

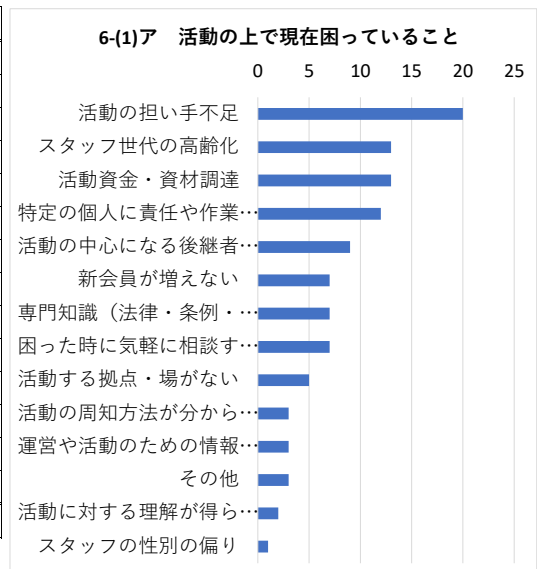
5-(3)あなたは、活動上で会議をするとき、普段どのような施設を利用しますか（複数回答可）

活動上で会議をするとき、普段どのような施設を利用するか	数	割合
カフェなどの飲食店	14	22%
公共施設	14	22%
市民活動センターの会議室	12	18%
オンライン会議	12	18%
団体構成員の自宅	7	11%
その他	5	8%
民間のコワーキングスペース	1	2%
合計	65	100%



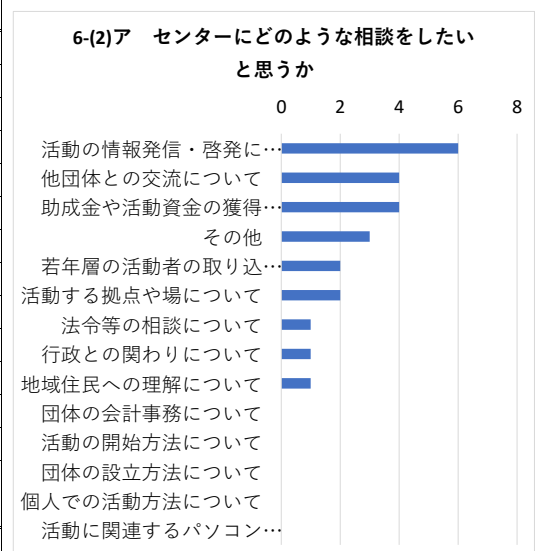
6-(1)ア 市民活動を行う上で、現在あなたが困っていることはなんですか（複数選択可）

活動の上で、現在困っていること	数	割合
活動の担い手不足	20	19%
スタッフ世代の高齢化	13	12%
活動資金・資材調達	13	12%
特定の個人に責任や作業が集中する	12	11%
活動の中心になる後継者が育たない	9	9%
新会員が増えない	7	7%
専門知識（法律・条例・制度・規則等）の不足	7	7%
困った時に気軽に相談する窓口がない	7	7%
活動する拠点・場がない	5	5%
活動の周知方法が分からない	3	3%
運営や活動のための情報収集	3	3%
その他	3	3%
活動に対する理解が得られない	2	2%
スタッフの性別の偏り	1	1%
合計	105	100%



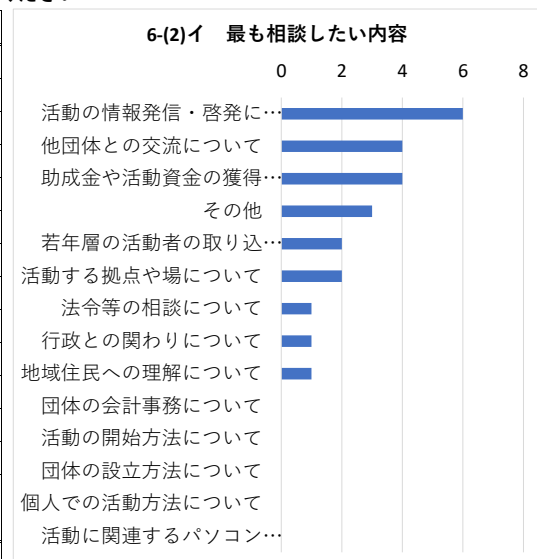
6-(2)ア 市民活動を行う上で、センターにはどのような相談をしたいと思いますか（複数回答可）

センターにどのような相談をしたいと思うか	数	割合
活動の情報発信・啓発について	6	25%
他団体との交流について	4	17%
助成金や活動資金の獲得方法について	4	17%
その他	3	13%
若年層の活動者の取り込みについて	2	8%
活動する拠点や場について	2	8%
法令等の相談について	1	4%
行政との関わりについて	1	4%
地域住民への理解について	1	4%
団体の会計事務について	0	0%
活動の開始方法について	0	0%
団体の設立方法について	0	0%
個人での活動方法について	0	0%
活動に関連するパソコンの使い方や、オンライン化について	0	0%
合計	24	100%



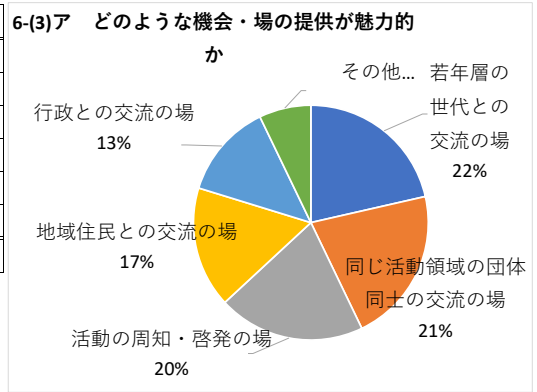
6-(2)イ 上記で選んだ「相談したい内容」のうち、最もあてはまるものをお選びください

最も相談したい内容	数	割合
活動の情報発信・啓発について	6	25%
他団体との交流について	4	17%
助成金や活動資金の獲得方法について	4	17%
その他	3	13%
若年層の活動者の取り込みについて	2	8%
活動する拠点や場について	2	8%
法令等の相談について	1	4%
行政との関わりについて	1	4%
地域住民への理解について	1	4%
団体の会計事務について	0	0%
活動の開始方法について	0	0%
団体の設立方法について	0	0%
個人での活動方法について	0	0%
活動に関連するパソコンの使い方や、オンライン化について	0	0%
合計	24	100%



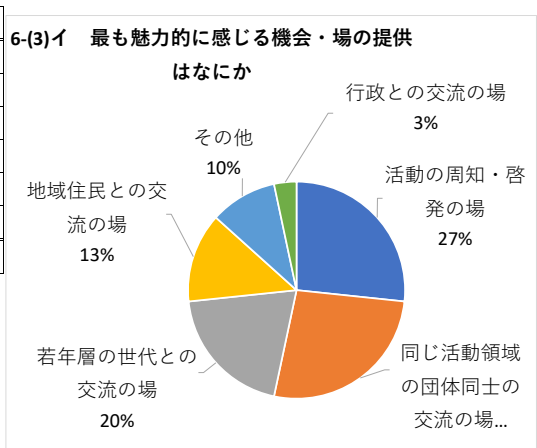
6-(3)ア あなたは、今後センターでどのような機会や場の提供がされると魅力的に感じますか（複数回答可）

どのような機会・場の提供が魅力的か	数	割合
若年層の世代との交流の場	18	21%
同じ活動領域の団体同士の交流の場	18	21%
活動の周知・啓発の場	17	20%
地域住民との交流の場	14	17%
行政との交流の場	11	13%
その他	6	7%
合計	84	100%



6-(3)イ 上記で選んだ「魅力的に感じる機会や場の提供」のうち、最もあてはまるものをお選びください

最も魅力的に感じる機会・場の提供はなにか	数	割合
活動の周知・啓発の場	8	27%
同じ活動領域の団体同士の交流の場	8	27%
若年層の世代との交流の場	6	20%
地域住民との交流の場	4	13%
その他	3	10%
行政との交流の場	1	3%
合計	30	100%



7-(1)アンケートの回答に基づき、インタビュー等の聞き取り調査にご協力いただける方は、ご記載ください